

「広報アンケート」結果報告書

平成 29 年 3 月 6 日

佐用町総務課広報室

平成 28 年 12 月 5 日から平成 29 年 1 月 20 日の間に「広報アンケート」を実施しました。回答にご協力いただきありがとうございました。その内容をまとめましたのでお知らせします。自由記載の回答の紹介は、同じ内容の意見をまとめています。

世代で結果の異なる回答は、60 歳までのかたの回答と 61 歳以上のかたとに分けて、グラフに示しました。

アンケートの目的

「広報さよう」と「町ホームページ」は、町で暮らす皆さんと行政とを結ぶ情報交換の方法の 1 つです。皆さんがどう広報誌を活用しているか、ホームページのどのような情報に関心を寄せているかを調査して、今後の情報発信の手法や内容を検討します。

アンケートの方法

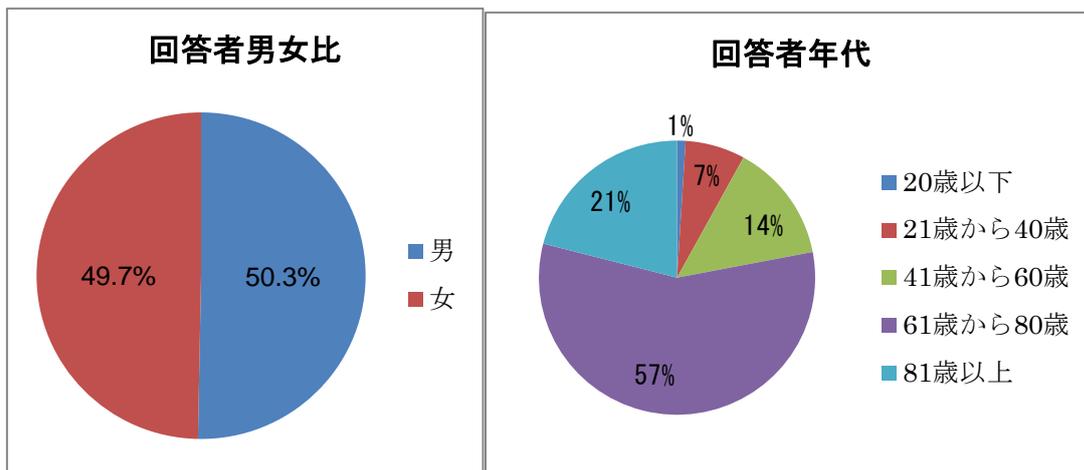
アンケート用紙は 12 月 5 日に、広報誌をお届けする約 6 千 5 0 0 世帯へ配布しました。回答数は 1 5 5 件で、うち 8 件はインターネットからの回答です。広報誌へ折り込んだ用紙で調査したため、回答者のほとんどは、広報誌を読むかたとなっています。

回答結果

問1 あなたの性別

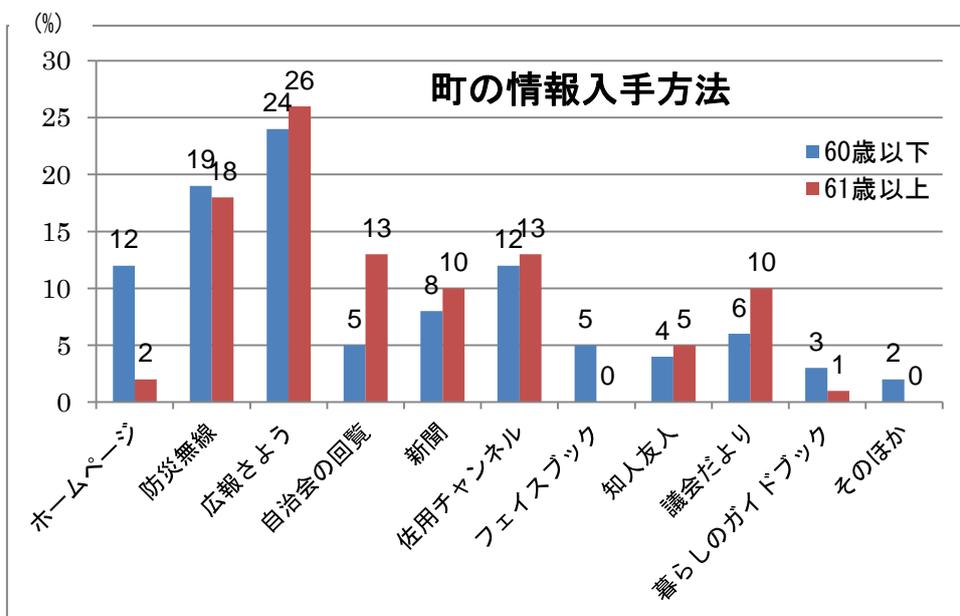
問2 あなたの年齢は

回答者の男性 78 人、女性 77 人でした。世代は 61 歳以上のかたがおよそ 8 割を占めます。



問3 どのような方法で町の情報を手に入れていますか

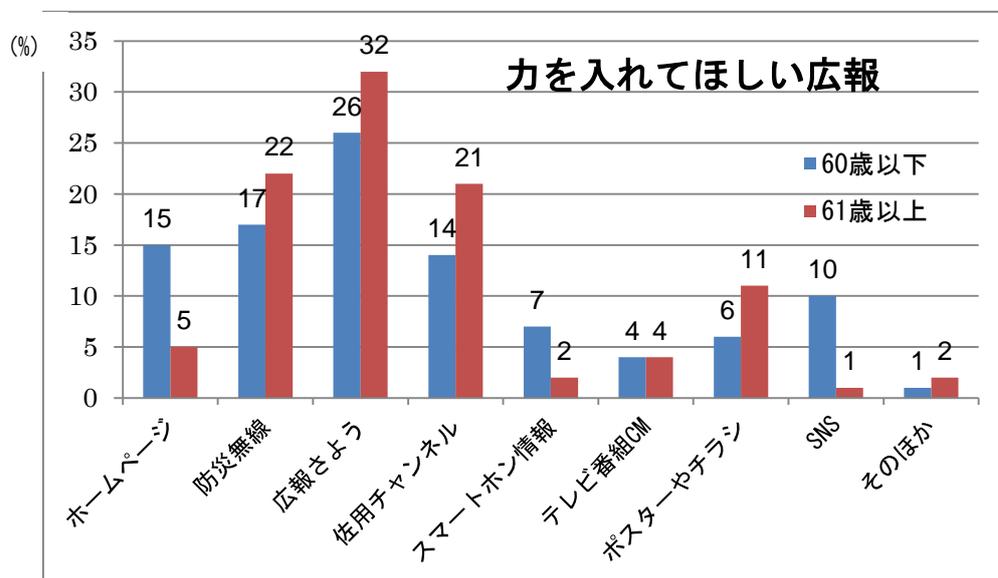
町の情報を知る手段には、防災行政無線、広報さよう、佐用チャンネルを挙げるかたが多くなっています。60 歳以下のかたは、ホームページやフェイスブックなどインターネットを活用して情報を得ています。



※年代別に回答を比較するために、回答総数を 100 としています。

問4 力を入れてほしい広報の方法は何ですか

インターネットの利用が多い60歳以下のかたは、ホームページやスマートフォンの情報が充実するよう望んでいます。



※年代別に回答を比較するために、回答総数を100としています。

問5 それはどのような内容ですか

地区や集落などのイベント情報やまちづくりの活動状況を知りたい意見が寄せられました。また、医療、福祉や介護の情報を求めている、健康に関心のあるかたが多いことがわかります。

【いただいた意見】

- ・ 行政情報、イベント情報、地区や集落の行事、身近な話題
- ・ まちづくり、地域づくりの活動状況
- ・ 町の商品、店舗の紹介、観光の魅力を町外のかたへ伝える
- ・ 健康情報、医療や福祉、暮らしに不可欠な情報、高齢者向けの生活情報
- ・ 高齢者に重要な内容をわかりやすく
- ・ 文化の情報、生涯学習
- ・ 税の使われ方、町の予算
- ・ 町の課題、少数派意見の紹介
- ・ 人と人がつながる方法、役場とのコミュニケーションのあり方
- ・ 非常災害への備え
- ・ 定住対策
- ・ ページ数を増やして細かな情報を
- ・ 狩猟区域、交通事故多発地点

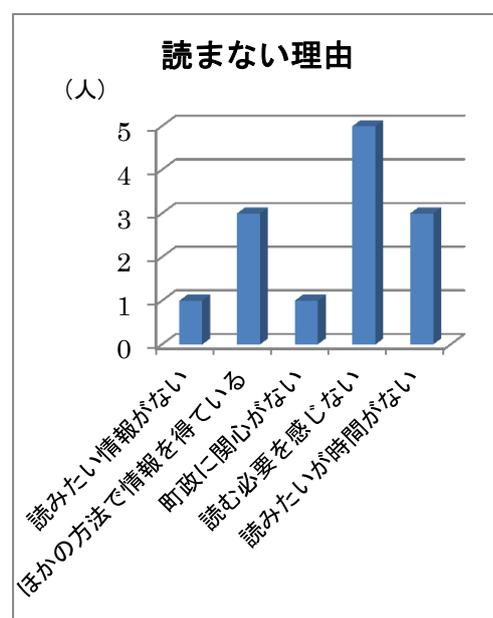
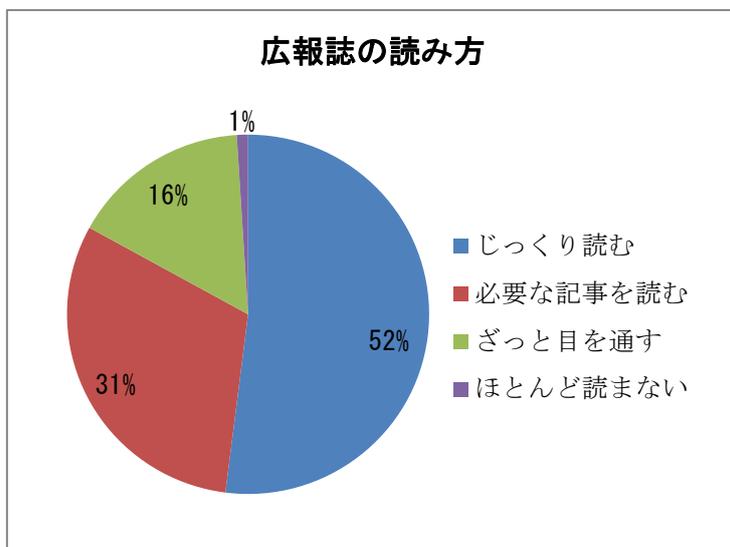
- ・ 佐用町の話題を NHK など全国放送で流してほしい
- ・ 車両放送で戸外にいるかたへお知らせしてはどうか

問 6 広報さようを読みますか

問 7 読まないかたは理由を教えてください

52%のかたがじっくり読む。31%が必要な記事を読むと答えています。アンケート用紙の配付が、広報誌への折り込みであったことが、愛読するかたの割合を高めています。

読まないかたは他の方法で情報を得ているほか、読む必要を感じない読む時間がないかたがあります。

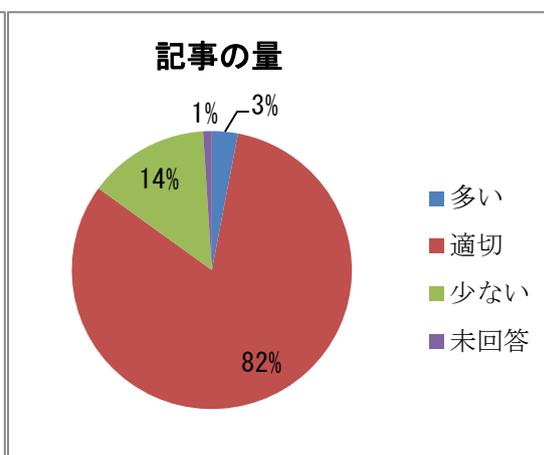
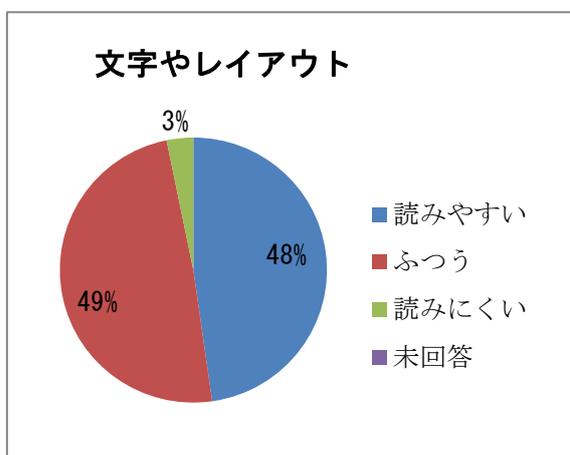


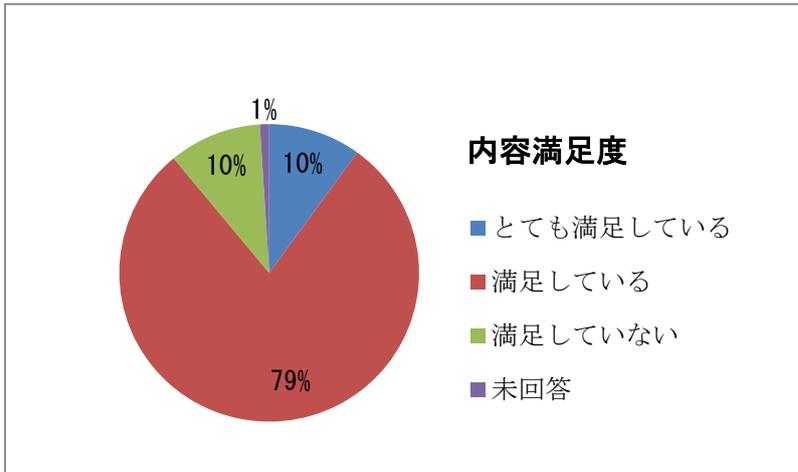
問 8 文字やレイアウトは読みやすいですか

問 9 記事の量は適切ですか

問 10 内容に満足していますか

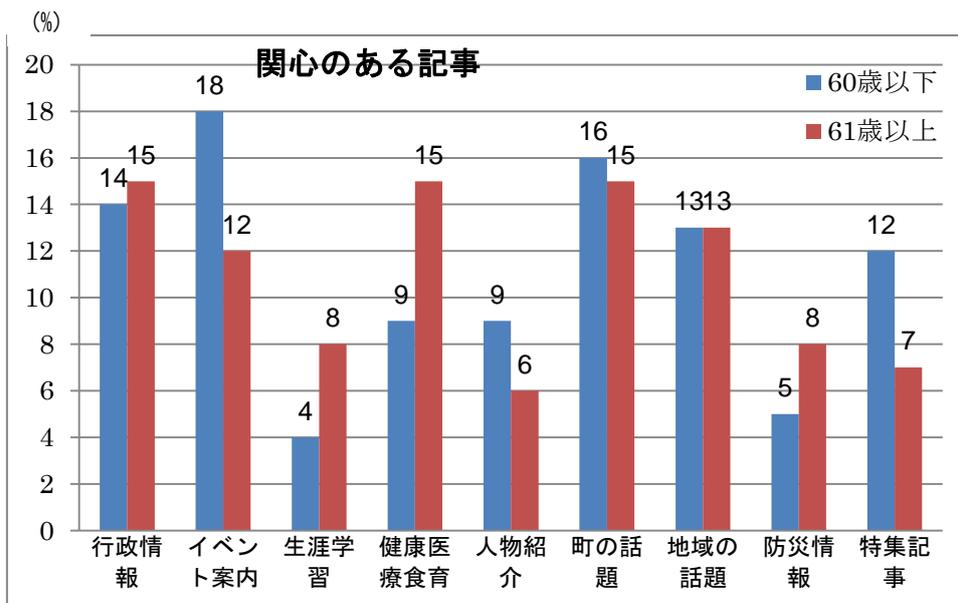
読みやすさは9割、記事の量は8割のかたが適切と感じ満足しています。





問 11 どのような内容に関心がありますか

行政情報のほかにイベント案内や町の話題の記事を読むかたが多く、60歳以下ではイベント情報や特集に、61歳以上のかたは健康・医療・食育の記事に関心を寄せています。



※年代別に回答を比較するために、回答総数を 100 としています。

問 12 取り上げてほしい話題や情報はありますか

広報さようでは、「わがまちこの人」「わがむらじまん」「キラキラヒカル」「笑顔の輪」のシリーズで、町で活躍するかたやグループ、集落の史跡などを紹介しています。

特集を組んで、新しい行政の情報や福祉サービスの紹介をしています。取り上げる話題はたくさんあります。いただいたご意見を参考に紹介していきます。

認知症や介護の必要なかたやお世話するかたに役立つ話題、町全体や地域で困っている

課題などを取り上げてほしいという声があります。また、昔懐かしい話や生活に役立つ豆知識などを紹介したり、カレンダー形式でイベントを掲載したりしてほしいという要望も寄せられました。

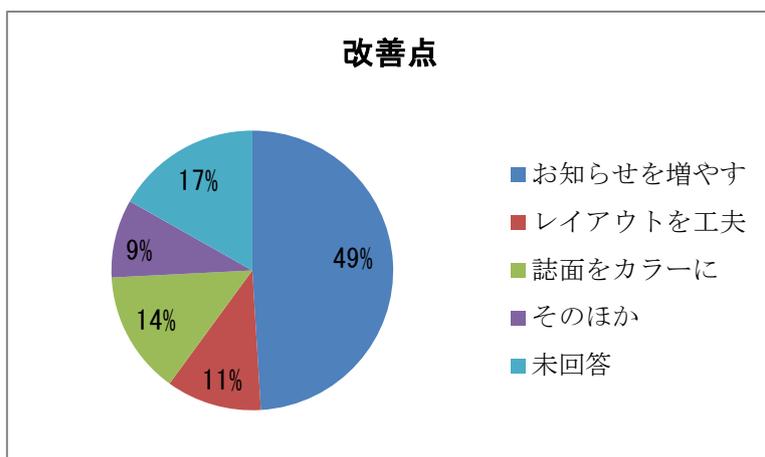
【いただいた意見】

- ・認知症、介護のこと
- ・健康のこと、医療現場からの情報
- ・頭の体操、老後の生き方
- ・福祉サービス情報
- ・どの病院が何の専門なのか教えてほしい
- ・健診の情報を複数回掲載してほしい
- ・町に役立つボランティアの募集
- ・教育だよりも社会教育のことも取り上げてください
- ・議会の報告を毎回少しいから広報誌で紹介してほしい
- ・行事をカレンダー形式でまとめてほしい
- ・月初めの行事を前の号に掲載
- ・月1回の広報誌なので、もっと情報がほしい
- ・園芸、趣味活動、少人数のグループ活動
- ・野菜の料理特集
- ・掃除のプロに聞いたこと
- ・学校や保育園の入学卒業の日を知らせてほしい
- ・子どもたちの学校、保育園生活
- ・地区のイベント、話題
- ・紅葉や桜の情報
- ・昔の写真や思い出、町の歴史のコーナー
- ・町内の名所や旧跡
- ・生活の知恵ぶくろの紹介
- ・地域の技術
- ・我が家のペット
- ・図書館情報の充実
- ・役場担当課の重点取り組みを教えてください
- ・工事、通行止めなどの道路情報
- ・ソーラーパネルの最新情報
- ・お店の情報
- ・防災用具の展示やあっせん
- ・身近で使わなくなったものの譲渡交換情報
- ・誘致業種や関連要員募集など

- ・良いことばかりでなく、困っていることも。少数意見の紹介。
- ・町全体のかたが読んでよかったと思える紙面に
- ・自治会で頑張っていること、元気が出て目標が持てるようなこと
- ・少子化や過疎のもとで暮らすうえでの課題、何を望んでいるか
- ・近隣の市町村のイベント案内、県の行政サービスと窓口
- ・新しい条例による町の取り組み
- ・町長や町議の費用支出の詳細開示
- ・ごみの始末、野焼きをしない、犬のふんの始末などマナー向上啓発
- ・議会だよりの発行を増やす

問 13 改善するとよいと思うことはありますか

もっとお知らせを増やしてほしいという意見が半数に上ります。文字を濃くわかりやすくしてほしい、という意見がありました。



「そのほか」の改善点

- ・以前あったカレンダー形式の行事予定
- ・文字が薄くておばあちゃんが見づらいと言っている
- ・今まで通りでいい
- ・社協だよりが見やすいです
- ・一部ポイントをカラーに
- ・問合せ連絡先の電話番号を毎号載せてほしい

問 14 「よかった」「気になった」記事や写真があれば教えてください

特集では町の課題と向きあって活動する方々を紹介しています。暮らしに役立つ情報をお知らせしています。記事を読んで課題を身近に感じたかたや、情報を役立てているかたがあります。毎月の写真を楽しみにしているかたが多く、「いつどこでだれが何をどうやって」いるのか分かるよう撮影してほしいという意見をいただきました。

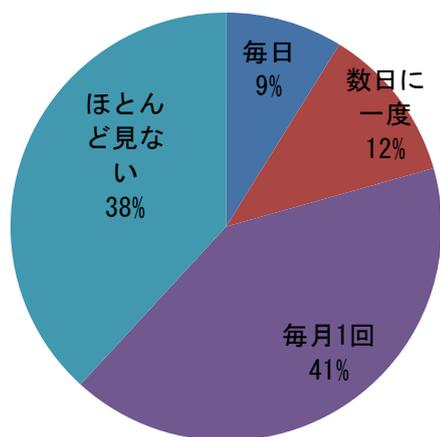
【いただいた意見】

- ・じゃがいも堀の写真がかわいらしかった
- ・子どもたちが頑張っている写真に引き付けられます
- ・表紙の写真を楽しみにしています
- ・知人が写っているとうれしい
- ・表紙の写真は何を写しているのかわかるように工夫を
- ・わがまちこの人、キラキラヒカル、笑顔の輪が楽しみです
- ・介護の特集がもう一度読みたい
- ・特集「姫新線の思い出」がよかった
- ・特集「星はわたしたちのふるさと」がよかった
- ・特集「人と山のつながり」がよかった。林道が無いところはどうすればいいのか考えさせられた
- ・特集「わが家が歩む道」で、不在者住宅や土地の管理を考えさせられた
- ・休日診療医の情報で親族の命を取りとめられた
- ・水道管の防寒対策が役立った
- ・食育献立が役立ちます
- ・マナー化されていて読みたいと思わない
- ・チャコネットの活動
- ・文化祭や郡展の記事
- ・歳時の報告に興味がある
- ・100円喫茶がいい
- ・人口動向の話題

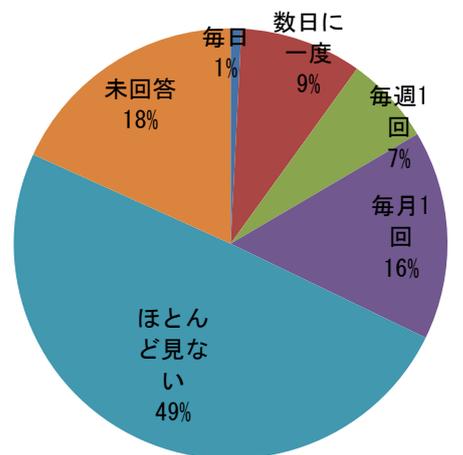
問 15 どのくらい町のホームページを開きますか

60歳以下の約7割のかたが町のホームページを見ていますが、61歳以上のかたは6割以上のかたが見ていないもようです。

町ホームページの閲覧頻度(60歳以下)



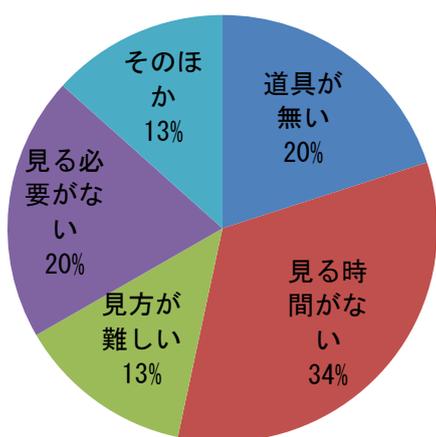
町ホームページの閲覧頻度(61歳以上)



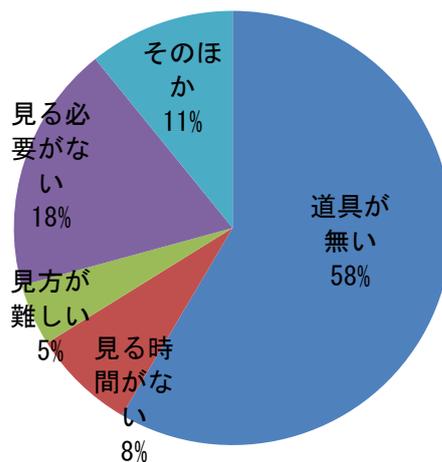
問 16 ホームページをほとんど見ない理由

60歳以下のかたは、見る時間がないと答えたかたが34%と最も多いのに対し、61歳以上のかたは58%のかたが見るための機器を持っていないという実態となっています。

ホームページを見ない理由(60歳以下)

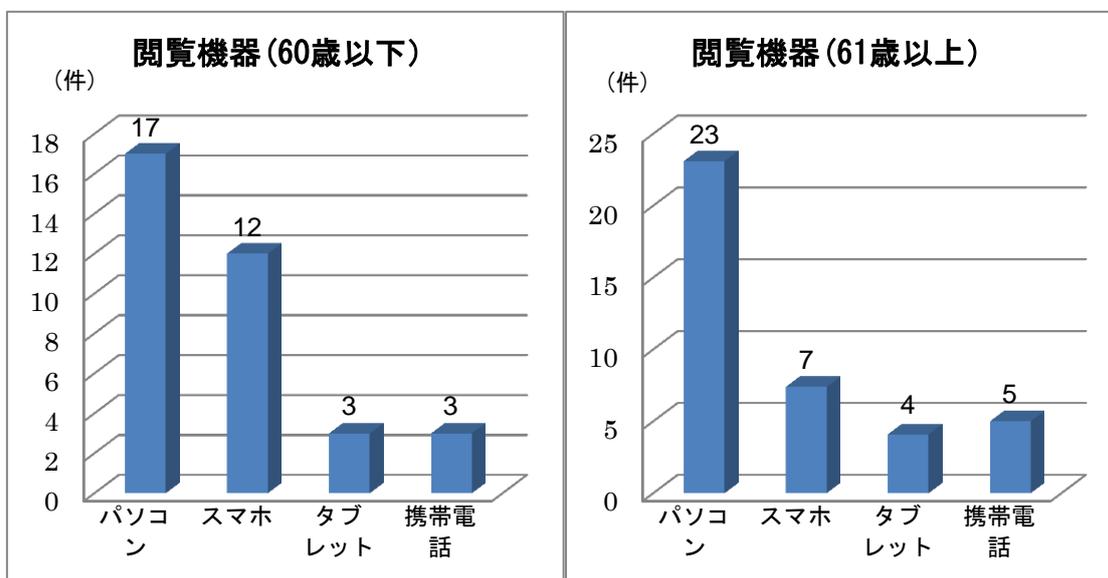


ホームページを見ない理由(61歳以上)



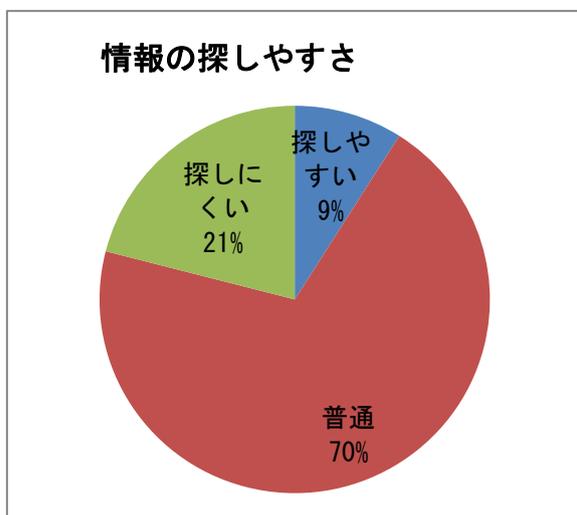
問 17 何を使って見えていますか

60 歳以下の世代では、パソコンを使うかたに迫る数でスマートフォンで閲覧しています。61 歳以上のかたはほとんどがパソコンで見えています。



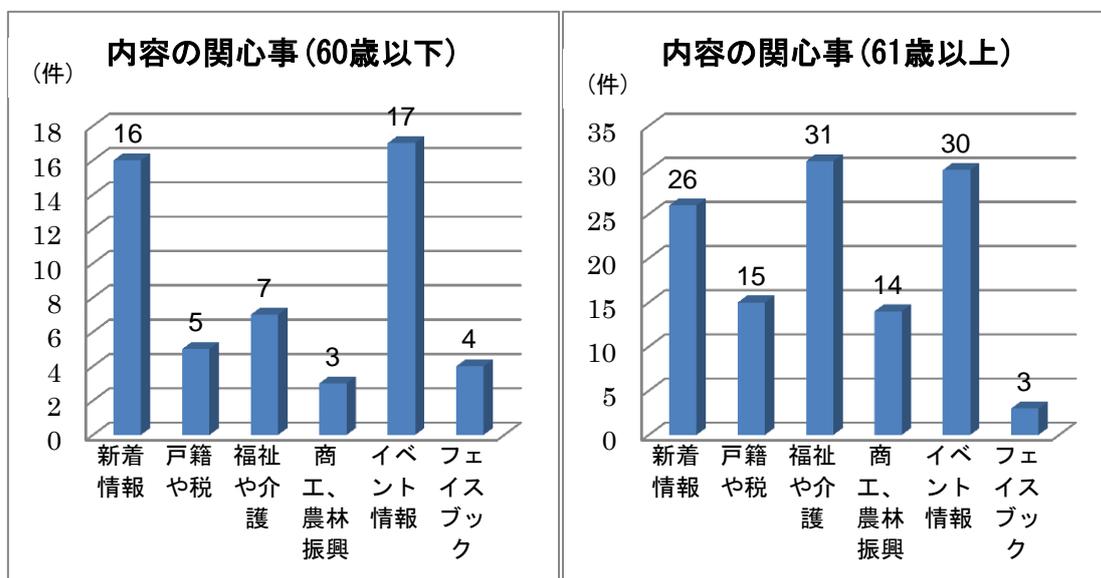
問 18 ホームページの情報を探しやすいですか

町のホームページは探しやすい、普通と答えたかたが 7 割以上を占め、おおむね検索しやすいと感じています。



問 19 よくご覧になるページはどれですか

閲覧内容で多かったのは新着情報とイベント情報ですが、61歳以上のかたは福祉や介護の情報を見るかたが多くなっています。



問 20 ホームページへ掲載してほしい情報

町のホームページに掲載してほしい情報は、福祉や介護、イベント情報、生涯学習に関する情報など、年代などにより、さまざまな情報をもとめられていることがわかります。

【いただいた意見】

- ・わかりやすい福祉や在宅介護支援の情報
- ・認知症関連記事
- ・老後の健康維持
- ・地域のイベント情報
- ・町のグルメ情報
- ・山の奥のすてきな情報
- ・クマ、イノシシなどの出没する場所を具体的に
- ・図書館新着情報
- ・プールや温泉の割引、南光スポーツ公園、三日月陣屋館など、町の施設の利用情報
- ・生涯学習関連情報、高齢者のスポーツ
- ・地域の活動、町の情報
- ・観光につながるよう各集落の遺跡を紹介
- ・子どもたちの活躍
- ・高齢社会へ向けての町の施策

- ・町全域の情報を偏りなく紹介
- ・スマホで防災情報が知りたい
- ・婚活の情報
- ・インターネットを使った参加申し込みや問い合わせ
- ・佐用チャンネルが見られないので、同レベルの情報がほしい
- ・町の道路、鉄道の交通情報

【町ホームページから】

町のホームページでは、福祉・介護のサービスや支援の情報を、関わる担当課ごとにお知らせしています。新しい制度は、新着情報としてトップページからスムーズに読むことができますので、1カ月に一度くらいの頻度でご覧になることをお勧めします。

スマートフォンをお持ちの方は、無料アプリ「マチイロ」をインストールすると、皆さんの要望にあった情報が、いち早く手元に届きます。

さよう安全安心ネットに登録すると、メールで町の防犯や防災情報を得ることができます。

問 21 広報全般へ感想や意見を寄せてください

広報さよう、防災行政無線、佐用チャンネルへ多くの意見が寄せられました。

■広報さよう

いただいた意見の中には制作する私たちの気づかないものがあり、大変参考になります。皆さんに、より手に取っていただける誌面づくりに努めます。

【いただいた意見】

- ・広報の文字が薄くて読みにくい
- ・年寄りには機械物に弱いので紙面の広報は助かる
- ・一人暮らしで車にも乗れない身には、ありがたい情報キャッチの手段
- ・新聞を購読していないので、町からのお知らせは新聞折り込みにしないでほしい
- ・議会だより、社協だよりを広報さようにまとめてはどうですか。経費節減にならないか
- ・いつもご苦労様。毎回ありがとう。頑張ってください
- ・広報誌が届くのが遅かった時にイベントや健診の申込が終わっていることがあります
- ・安全安心暮らしのカレンダーに六輝を入れてほしかった
- ・配布されるカレンダーは大変有用です。日付にラインが入っていると使いやすいです
- ・保存できるようなもので広報してほしい
- ・佐用町を愛しています。どんな小さな情報も知りたいです。
- ・広報特集内容を佐用チャンネルとタイアップしてはどうか
- ・いつも楽しく拝見しています
- ・利神城の史跡指定を進め、他の城跡にもスポットを当ててほしい

■防災行政無線放送

無線の放送は、皆さんへ町の事業のほかに、地域や集落の情報を”声”でお伝えしています。町では、迅速に防災情報をお知らせするため、防災行政無線を運用しています。日ごろから受信状態を確かめて、聞き取りにくい時は連絡をしてください。町からお知らせする放送は、短い時間の中で大切な情報を適切にお届けするよう努めています。

【いただいた意見】

- ・ 佐用チャンネル、無線放送、わかりやすい話し方です
- ・ 無線の放送は、明るくゆっくり、はっきりとした発音やアクセントで話してほしい
- ・ 無線放送が雑音で聞き取りにくい時がある
- ・ 今日の行事だけでなく近々の行事を知らせてほしい
- ・ 無線放送は本当に必要な時だけ流してほしい
- ・ 詐欺を未然に防げるよう些細なこともお知らせしてほしい
- ・ 無線放送を気軽に依頼できるようにしてほしい。
- ・ 耳が聞こえにくくなって防災無線が聞こえにくい。就寝時に無線機の明かりが迷惑
- ・ 無線放送で休日当番医を前日と当日に知らせてほしい
- ・ 放送の内容をメール配信
- ・ 行事予定や支所ごとの行事を町全体へ放送
- ・ お悔み放送を全町へ流す
- ・ 放送ホームページに詳しい情報があることを、防災無線で知らせてほしい
- ・ 災害時の無線放送は、聞き落とすことが無いよう回数を増やしてはどうか
- ・ 火災通報の自動音声で聞き取りにくい場所がわからない
- ・ 定時放送の時刻が 20 分差ある
- ・ 平成 28 年 10 月の鳥取の地震のようなときは、防災無線で知らせてほしい

【防災行政無線放送のお知らせ】

- ・ 防災行政無線では、災害時には緊急放送を、平常時には定時放送で町の事業やお知らせなどをお伝えしています。
- ・ 戸別受信機は、佐用町の住民基本台帳に登録されている世帯の住居または、事業所について、1 台に限り無償で貸与します(2 台目以降は 15,000 円で購入することができます)。
- ・ 定時放送の時間は、月～金曜日の朝は午前 6 時 45 分から、日曜日の朝は午前 8 時から、夜は午後 7 時 50 分からです。
- ・ 定時放送は、無線機器が正常に動いているかを確認する試験放送も兼ねています。受信機の録音機能を使うと、聞きそびれた放送を再生して聞くことができます。
- ・ 定時放送は、確認ダイヤル（☎ 8 2 - 2 5 2 8）で聞くことができるほか、ホームページの「防災行政無線放送内容」の記事で読むこともできます。
- ・ 放送が聞き取りにくい時など放送に関するトラブルは、佐用町防災行政無線サポートセ

ンター（☎71-0996）へ相談してください。

- ・聴覚障がい者のかたの世帯に、放送内容を文字でお知らせする「文字表示機」を貸し出しています。
- ・兵庫県南西部に震度 5 弱以上の揺れが予測されたときは、自動で緊急地震速報が流れます。

■佐用チャンネル

佐用チャンネルは、町の行事や地域の活動、保育園や学校行事などを町内のかたへ映像でお知らせしています。また町議会の一般質問の中継や、文字放送による行政情報をお届けしています。

番組は、ボランティアの皆さんの集まり「NPO法人 まちかど」が、撮影や編集をしています。紹介する行事の数と映像の編集にかかる時間から、番組を2週間に1回更新し、なるべく最新の情報をお伝えできるよう努めています。

皆さんからいただいたご意見をもとに、新コーナーを作ったり場面を構成したりして、皆さんに親しまれる番組制作に努めます。佐用チャンネルは、明るく楽しい町的话题を募集しています。放送してほしい行事や話題がありましたら、総務課広報室へお知らせください。

【いただいた意見】

- ・佐用チャンネルの字幕に誤りがないようチェック。イベント紹介に出るチームは偏りなく紹介してほしい
- ・番組表を広報誌などで知らせてほしい
- ・インタビューがうまくなるといいと思う
- ・佐用チャンネルのお知らせで行事予定を早めに流し、終わった情報を消す
- ・もう少し短い周期で放送の更新を
- ・佐用チャンネルでグループの文化活動を紹介
- ・佐用チャンネルで昔懐かしい映像、話題、自分物紹介
- ・自宅でできる認知症予防の番組
- ・議会の様子
- ・転入したかたの紹介
- ・四季の様子、子どもたちの行事、食育など楽しい内容

【佐用チャンネルのお知らせ】

- ・佐用チャンネルで何が放送されるかは、テレビのリモコンの「番組表」ボタンを押すと番組ガイドを見ることができます。町のホームページでもお知らせしています。
- ・佐用チャンネルで議会の一般質問の中継と議会だよりで内容をお伝えしています

■そのほか

- ・利神城の国の史跡指定が早く実現できるよう盛り上げてほしい。
- ・佐用駅周辺に明るいペイントを
- ・人口減少をあきらめずにいろいろな事例を学んで対応してほしい
- ・経済的に生活に困るかた、病気やけがで困るかたへ援助してほしい
- ・議会だよりの発行を増やす
- ・毎月少しでいいから広報誌で議会のことを紹介する

まとめ

寄せていただいた意見から、気づかされることが多くありました。これからの広報に役立つアイデアもいただきました。

ホームページは多くのかたが見ることができない

広報さようの記事は、他市町の広報誌より大きな文字で印刷しています。しかし、文字が細く読みにくいかたがあると知りました。また、多くのかたがインターネットホームページを見ることができないということがわかりました。

行政情報をわかりやすく伝える

「もっと情報がほしい」「お知らせをしてほしい」と意見がありました。皆さんが町で暮らす上で必要な情報の伝達は、行政のなすべき柱の1つです。健康や福祉の制度、暮らしや税の制度などを、わかりやすい文や図、やさしいイラストで伝えます。

人と人をつなぐ

「佐用町を愛しています。だからいろいろな情報を知りたい」「高齢で外出しにくい私には、とてもありがたい情報キャッチの手段です」との声も。

町の人や地域の宝、行事の紹介で、同じ町に暮らす人と人をつなぎたいと願っています。また、皆さんからいただいた声を参考に、町の課題を一緒に解決できるよう「広報さよう」と「町のホームページ」が架け橋となって、情報や意見を交わします。また、昔懐かしい話や人、地域の活動を紹介して、わがまちを楽しめ、皆さんから愛される広報に努めます。

これからも、皆さんの心を動かす記事をお届けしますので、手元に届いた「広報さよう」や「町のホームページ」を開いてください。